

統合開発環境 IAR Embedded Workbench (以下 EW)と JTAGエミュレータ IAR J-Link を使って付属 ARM マイコン基 板をデバッグする方法を解説します.

付属 ARM マイコン基板と IAR J-Link の接続のようすを写真 1に示します.

ここでは、LED を点滅させるプログラムを、付属 ARM マイ



写真1 付属 ARM マイ コン基板と IAR J-Link の接続

図3





コン基板の内蔵フラッシュ ROM にダウンロードして動かします. プログラムのプロジェクトー式は、あらかじめ任意の場所に コピーして保存しておいてください.

● IAR Embedded Workbench の準備

 $\lceil X \beta - h \rfloor \lambda = 1 - b \beta$, $\lceil \mathcal{T} \Box \beta \neg \beta A \rfloor \rightarrow \lceil IAR Systems \rfloor$ \rightarrow [IAR EmbeddedWorkbench for ARM Kickstart] \rightarrow [IAR Embedded Workbench」を選択し、EW を起動します.

図1のダイアログが現れるので、「既存のワークスペースを 開く」を選択します.

「ワークスペースを開く」ダイアログで「Interface.eww」を 選択し、「開く」ボタンをクリックします(図2).

ワークスペースを開	к				?×
ファイルの場所の	IAR_Workspace	3	•	⇔ ≞ ở ഈ	
 最近使ったファイル 最近使ったファイル デスクトップ マイ ドキュメント マイ コンピュータ 	Dentaku Dentaku_C FirstProject Multinterupt settings				
マイ ネットワーク	 ファイル名(<u>W</u>):	Interface.eww			
	ファイルの種類(工):	ワークスペースファイル(*.eww)		•	キャンセル

図2 Interface.eww を選択

ノード" FirstProject" のオフ	ション			×
カテゴリ: 秋オプション へ CIC++=フパイフ アセンブラ 出力コンパータ visualSTATE Coder カスタムと比ド ビルドアクション リンカ デパッガ ジミュレータ Angel GD8サーパ IAR ROMモニタ J-Link/J-Trace LMI FTDI	ターゲット 出力 ライブラリ形 「コロセッサ選択 「コアの」 「ARM7 「デバイスの」 「NKP LI ー コンディアンモード 「リトル仏」 「ビッグ(B) 「BE8(2)」 「BE8(2)」	t定 ライブラリオブション M FDML-S ^C2388 FPU(<u>F</u>) 「無し	NSRA-C ⊡⊧ ⊻	
			<u> のK</u> キャンセル	

図4 FirstProjectのオプション